

県内初 小中特別支援学校で始動

兵庫県内の市町に先駆けて「加西STEAM (スティーム) 教育」を始めます

加西市教育委員会は、「人生100年時代」「超スマート社会 (Society of 5.0)」を前に、「郷土を愛し豊かに未来を拓く人づくり」を人生100年時代を生きる」とした第3期(令和3年度から5年間)の加西市教育振興基本計画を策定しました。

その実現に向けて、『子どもたちが探究的な見方・考え方を身に付け、現実的な問題を解決する力』を育む「STEAM教育」を始めます。激変する社会にあっても、自分が育った自然や風土を原風景として、自分の力で新しい価値を創造し、未来に挑戦していきける加西っ子になって欲しいからです。

兵庫県では県立高等学校の一部で、「STEAM教育」の取組が始まっていますが、教育委員会が提案して小・中・特別支援学校で取り組むのは、加西市が県下初です。

1人1台のタブレット端末をノート代わりにして、小・中・特別支援学校でプログラミング教育も始まっており、教師が教える知識注入型の授業から、子どもが自ら考え、自ら答えを見つける授業に変わってきています。

「STEAM教育」とは Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、English (英語)、Art (芸術/表現)、Mathematics (数学/算数) の5つの英単語の頭文字を組み合わせた造語です。5つの領域を対象とした教育に創造的な課題解決能力を加えた教育の考え方で、知りたい(探究)とつくりたい(創造)のサイクルを生み出す、分野横断的な学びです。



加西 STEAM
「知りたい」と「創りたい」を循環しつつ、
文系・理系をバランス良く学びます

モノづくり企業の町ともいわれる加西市の地元企業には、世界の最先端テクノロジーが集まっています。大学・大学院などとも連携しながら、自らテーマを見つけ、学校・家庭・社会と協働・連携しながら先端テクノロジーを使いこなして、アイデアを形にできる未来の加西を担う子どもを育てます。

問合せ先：学校教育課 ☎ 8771

